
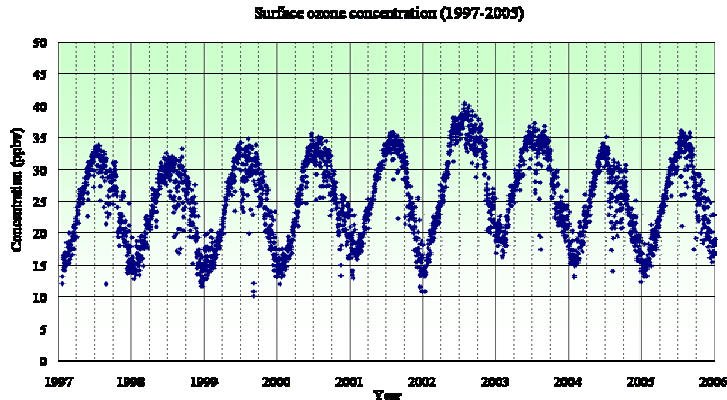


【タイトル】	地上オゾン観測
【サブタイトル】	地上オゾン観測データ
【観測期間】	1997年～現在
【観測風景】	
【データ概要】	昭和基地(SYO)の地上オゾン観測は、1997年から開始されている。観測データは世界温室効果ガスデータセンター(WDCGG)へ報告する。また、帰国後はデータレポートを編集する。
【データ名】	地上オゾン観測データ
【観測点】	昭和基地
【データ形態】	デジタルデータ
【データ期間】	1997年～現在
【データ取得サンプリング】	連続、12秒毎
【観測機器】	オゾン濃度計
【データ公開】	大気・海洋環境観測報告 (CD-ROM/ http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/cdrom/report_k.html)、南極気象資料(CD-ROM)
【データサンプル】	<p>(図タイトル) 南極昭和基地における地上オゾン濃度の経年変化 (1997-2005)</p> 
【データ管理者(問合せ先)】	気象庁
【e-mail】	antarctic@met.kishou.go.jp
【関連機関】	世界気象機関 (World Meteorological Organization:WMO) 世界温室効果ガスデータセンター (World Data Centre for Greenhouse Gases: WDCGG)
【主な研究成果】	南極資料Vol.44、46、47、49、50